

學 務 課

學 務 係
教 職 員 係
指 導 係

学 務 係

1. 学校教育

(1) 小・中学校

ア、児童・生徒学級数

52.5.1現在

児童・生徒 学級数 学年 学校名	児童・生徒数								学 級 数						教 職 員 数		
									普 通 学 級					特 殊 学 級			
	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年			6年	
福生第一小学校	人 (9) 681	人 117	人 (1) 116	人 (1) 131	人 (3) 106	人 (1) 94	人 (3) 117		18	3	3	3	3	3	3	1	人 27
" 第二 "	(10) 875	155	(1) 145	(2) 170		(3) 129	(4) 121	22	4	4	4	4	3	3	1	32	
" 第三 "	931	150	139	166	163	131	182	24	4	4	4	4	3	5		33	
" 第四 "	482	78	99	78	91	54	82	14	2	3	2	3	2	2		21	
" 第五 "	473	87	75	96	68	73	74	13	2	2	3	2	2	2		19	
" 第六 "	798	148	156	146	139	110	99	22	4	4	4	4	3	3		30	
" 第七 "	428	96	82	77	67	47	59	13	3	2	2	2	2	2		19	
小学校 計	(19) 4668	831	(2) 812	(3) 864	(3) 789	(4) 638	(7) 734	126	22	22	22	22	18	20	2	181	
福生第一中学校	(6) 774	268	(3) 232	(3) 274				19	6	6	7				1	36	
" 第二 "	699	249	242	208				17	6	6	5					30	
" 第三 "	316	122	100	94				9	3	3	3					18	
中学校 計	(6) 1,789	639	(3) 574	(3) 576				45	15	15	15				1	84	

() 内数は、特殊学級児童生徒数

2. 教育振興

(1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助

ア、要保護児童生徒数

学校名	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
		1人	1人	人	1人	人	1人	
一	小	1	2	3	1	2	1	10
二	小			1	1	1	2	5
三	小		1	2			1	4
四	小	2		1	1	1		5
五	小							
六	小	1	1					2
七	小							
	計	5	5	7	4	4	5	30
一	中	2	3	6				11
二	中							
三	中							
	計	2	3	6				11

イ、準要保護児童生徒数

学校名	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
		4人	5人	4人	6人	1人	6人	
一	小	9	5	9	5	6	9	43
二	小	2	3	3	6	5	9	28
三	小	1	2			3	1	7
四	小	5	1	1	1	1	1	10
五	小	9	1	6	1	8	2	27
六	小	1		4	1	1		7
七	小							
	計	31	17	27	20	25	28	148
一	中	15	9	8				32
二	中	7	10	7				24
三	中	3	3	1				7
	区域外就学							
	計	25	22	16				63

ウ、就学援助費支給状況

区分 学校名	学用品費		新入学児童生徒 学用品費		給食費		修学旅行費		教材費		卒業アルバム代		支給額合計
	人員	支給額	人員	支給額	人員	支給額	人員	支給額	人員	支給額	人員	支給額	
一小	人 4	円 47,360	人 24	円 193,320	人 24	円 598,000	人 6	円 45,660	人 24	円 35,240	人 6	円 16,644	円 936,224
二小	6	71,040	40	323,020	40	949,900	9	83,376	37	65,375	10	30,000	1,522,711
三小	2	23,680	31	240,282	31	678,500	11	81,565	27	68,535	11	25,377	1,117,939
四小	1	11,840	9	66,222	9	207,000	2	13,020	9	17,730	3	9,150	324,962
五小	5	59,200	12	92,970	12	276,000	1	9,322	11	22,960	1	2,090	462,542
六小	7	82,880	27	206,146	27	644,000	2	19,620	27	61,120	2	5,600	1,019,366
七小	1	11,840	7	56,590	7	174,800	—	—	7	12,680	—	—	255,910
一中	15	213,000	32	466,990	32	88,216	14	490,000	28	46,290	14	49,560	1,354,056
二中	7	99,400	24	355,470	24	80,184	9	297,000	24	53,693	7	25,900	911,647
三中	3	42,600	7	102,500	—	—	1	30,240	7	7,640	1	4,500	187,480
計	51	662,840	213	2,103,510	206	3,696,600	55	1,069,803	201	391,263	55	168,821	8,092,837

教 職 員 係

1. 職員の状況

(1) 小学校

学校 \ 教科	校長	教頭	全科	音楽	図工	家庭	養護	特殊学級	事務職員	休職	計
一 小	人 1	人 1	人 19	人 1	人 1	人 1	人 1	人 2	人 1	人 1	人 27
二 小	1	1	23	1	1	1	1	2	1		32
三 小	1	1	25	1	1	1	1		1		32
四 小	1	1	15	1	1		1		1		21
五 小	1	1	13	1		1	1		1	2	21
六 小	1	1	24	1	1		1		1		30
七 小	1	1	13	1	1		1		1		19
計	7	7	132	7	6	3	7	4	7	2	182

(2) 中学校

学校 \ 教科	校長	教頭	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健		技術	家庭	英語	養護	特殊学級	事務職員	計	指導主事
									男	女								
一 中	人 1	人 1	人 4	人 4	人 3	人 4	人 2	人 2	人 2	人 1	人 2	人 1	人 4	人 1	人 2	人 1	人 35	人 1
二 中	1	1	4	3	4	4	1	1	2	1	1	1	4	1		1	30	
三 中	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		1	18	
計	3	3	10	9	8	9	4	4	5	3	4	3	10	3	2	3	83	1

2. 人 事

昭和52年度中に異動した教職員

(1) 小学校

事 由	職 名	人 員	備 考
転 出	校 長	1人	
	教 頭	3	
	教 諭	8	
	養 護 教 諭	1	
	事 務 職 員	2	
退 職	教 諭	3	
	事 務 職 員	1	
死 亡	教 諭	1	
転 入	校 長	3	
	教 頭	4	
	教 諭	10	
	事 務 職 員	1	
	栄 養 士	1	
採 用	教 諭	6	
	養 護 教 諭	1	
	事 務 職 員	1	
	産 休 補 助 教 員	8	
	育 休 補 助 教 員	6	
	講 師	18	52年度の採用延人員
休 職	教 頭	1	
	教 諭	1	

(2) 中学校

事由	職名	人員	備考
転出	校長	1人	
	教諭	2	
	養護教諭	1	
転入	校長	1	
採用	教諭	3	
	養護教諭	1	
	産休補助教員	2	
	講師	16	52年度の採用延人員

3. 給与

市内小中学校教職員給与等のうち、給料、諸手当については、本市から提出された給与関係通知書等に基づき、東京都立学校電算により支給されるが、講師報酬、教職員旅費については、東京都から本市に執行委任された予算で支給事務を行っている。

昭和52年度中に執行した予算額は、次のとおりである。

執行委任額	26,265,600円
決算額	25,902,381円
対象人員	316人
・一般教職員	266人
・産休・育休補助教員	16人
・講師	34人

指 導 係

1. 指導関係事業

(1) 学校訪問

- 指導主事が随時訪問し、学校長はじめ教職員と協議懇談することにより、学校のかかえる問題点を解明し助言した。
- 要請により研究会等に訪問し、研究協議に参加助言した。

(2) 研究事業

昭和52年度は次の研修会を開催し、福生市教職員の資質の向上を図った。そのうち一部は東京都多摩教育事務所西多摩支所と連携して行ってきた。

ア. 学校経営研修会	4	回
イ. 学級経営研修会	4	回
ウ. 学習指導法研修会	6	回
エ. 教育課題研究会	9	回
オ. 教育相談研究会	2	回
カ. 安全教育研修会	3	回
キ. 道徳教育研究協議会	3	回
ク. 心身障害教育研修会	3	回
ケ. 新任教諭研修会	16	回

(3) 音楽鑑賞教室

市立小中学校児童生徒の音楽鑑賞教室を、オーケストラ・合唱両部門それぞれ各1回、市民会館において開催した。

(4) 教職員に対する教育研究委託

教職員が長期にわたり、自主的に研究し、研修に努められるよう研究委託の制度を設け、使命の自覚と資質の向上を図った。

- ア. 学校経営調査研究委託
- イ. 学校事務研究委託
- ウ. 教務連絡会研究委託
- エ. 生活指導連絡会研究委託
- オ. 社会科副読本等研究委託

- カ. 研究員の研究委託
- キ. 心身障害教育研究委託
- ク. 体育実技研究委託

(5) 指導関係資料の刊行

- ア. 指導要覧
- イ. 研究紀要
- ウ. 教育相談の歩み

(6) 心身障害教育の推進

ア 方針

- ㊦ 心身に障害をもつ子どもに対する理解をいっそう深め、心身障害学級と普通学級との交流なども考え、相互に理解を深めながら、協力体制を確立する。
- ㊧ ひとりひとりの児童・生徒の個性の発見と伸長に努め、適切な指導に努める。
- ㊨ 児童・生徒が障害を主体的に克服し、自己の特性を生かすとともに、意欲的に生活する態度と、さまざまな環境に適応できる能力を育てる。

イ 心身障害学級

昭和47年4月、福生一小に開設された本市の心身障害学級も6年目を迎え、さらに昭和51年度は、福生一中に心身障害学級の開設をみたことにより、懸案であった小・中の一貫性が図られることになった。

なお、小学校における心身障害学級は、熊川地区への開設要望にこたえて、昭和52年4月から福生第二小学校に、くまがわ学級として開設した。

ウ 心身障害教育運営委員会

心身障害教育の振興と充実を図るため、市立小中学校の校長、教諭、PTA会長、教育委員等を構成員として、心身障害教育運営委員会を設置している。

エ 心身障害教育運営委員会の活動

運営委員会のなかに実行委員会を置き、調査・研究・広報・就学指導等の実際活動を推進してきた。

2. 教育相談

(1) 相談件数

	幼児		小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6		中 1		中 2		中 3		高及有 校 び 職		計		合 計				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
知能・学業に 関するケース	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
性格・行動に 関するケース	1	1	1			1				1	1			1	1										5	3	8		
進路・適性に 関するケース																				1	1					1	1	2	
身体・神経に 関するケース			1	1	1			2										1									3	3	6
就学相談に 関するケース	5	3	2			1	1							1													9	4	13
計	6	4	5	1	3	1			2	2	1	1	1	2			1		1						1	1	22	11	33

(2) 終結までのケース数

	回 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計	
人 数	人 19	24	1	2	3	1		2									1		1	1			1	1	1	58
延 べ 回 数	回 19	48	3	8	15	6		16									17		19	20			22	23	24	240